

**みんないのちで「いまの生命」と「みらいの地球」を守る計画(案)**  
**(江戸川区気候変動適応計画)**

# いのち みんなで「いまの生命」と「みらいの地球」を守る計画(案)

## (江戸川区気候変動適応計画)

### 【目次】

序 章 住みよい環境を未来へつなぐ

第1章 本計画の構成

第2章 地球温暖化の現状と対策

第3章 江戸川区の特性と気候

第4章 江戸川区のこれまでの適応策

第5章 「いまの<sup>いのち</sup>生命」を守る～気候変動への適応策～

第6章 江戸川区のこれまでの緩和策

第7章 「みらい地球」を守る～気候変動への緩和策～

みんなで「いまの<sup>いのち</sup>生命」と「みらいの地球」を守る計画(案)  
(江戸川区気候変動適応計画)

2022(令和4)年●月  
江戸川区

適応

緩和

# 序章 住みよい環境を未来へつなぐ

## 【気候変動から気候危機へ】

区が目指す脱炭素への方向性  
→みずから実行するまちへ

## 【三大公害との戦い】

- 葛西地区ごみ公害問題
- 航空機騒音問題
- 成田新幹線区間通過問題



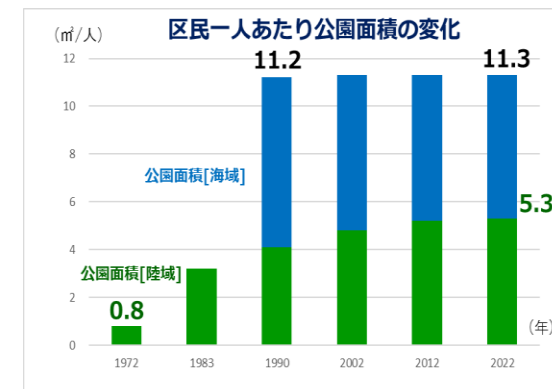
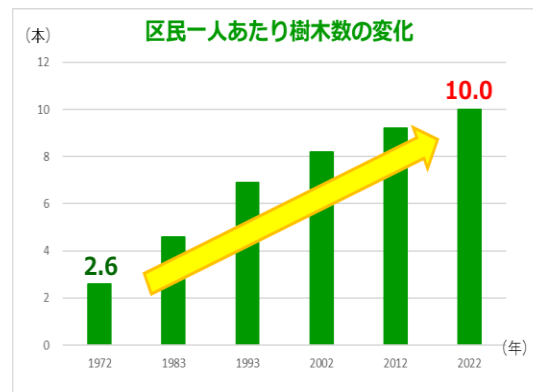
葛西地区ごみ公害問題



航空機騒音問題

## 【緑化運動】

- ゆたかな心 地にみどり
- 区民一人当たり 樹木数10本公園面積10m<sup>2</sup>



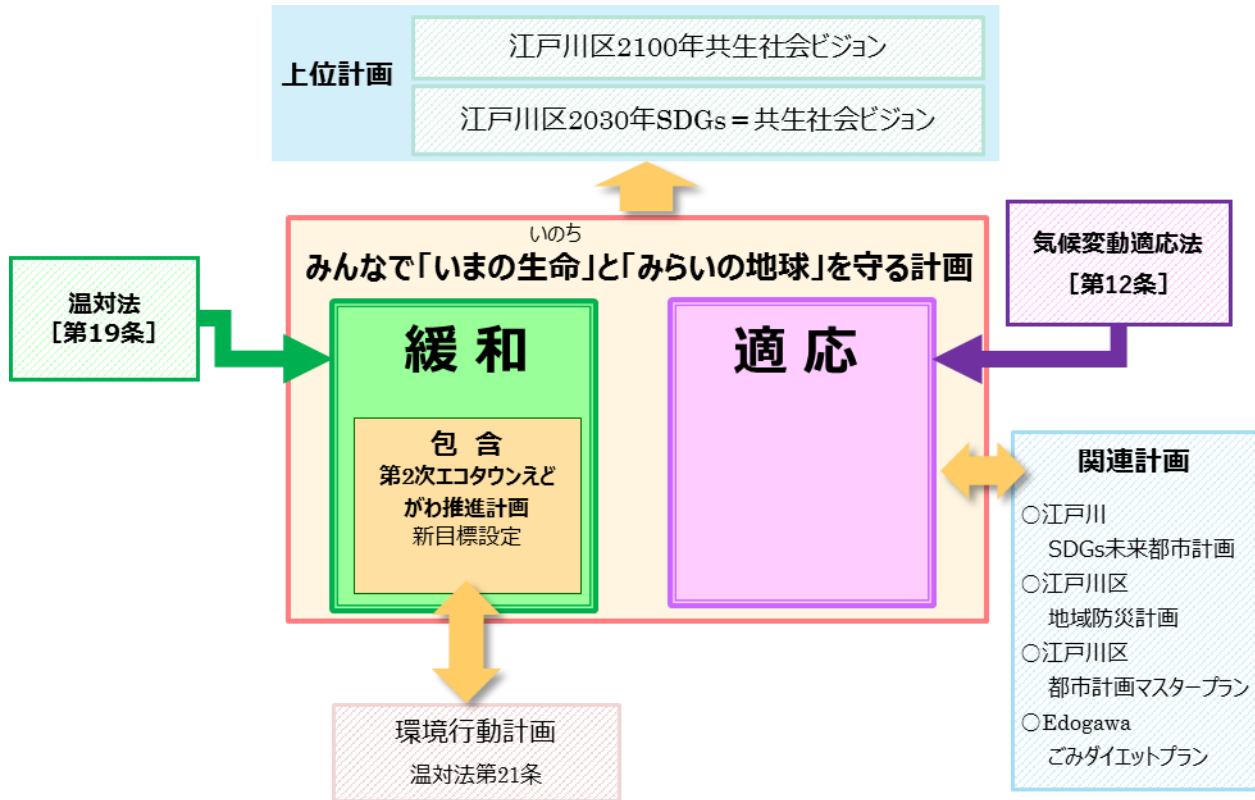
清掃活動



新川千本桜まつり

# 第1章 本計画の構成

## 【計画の概要】

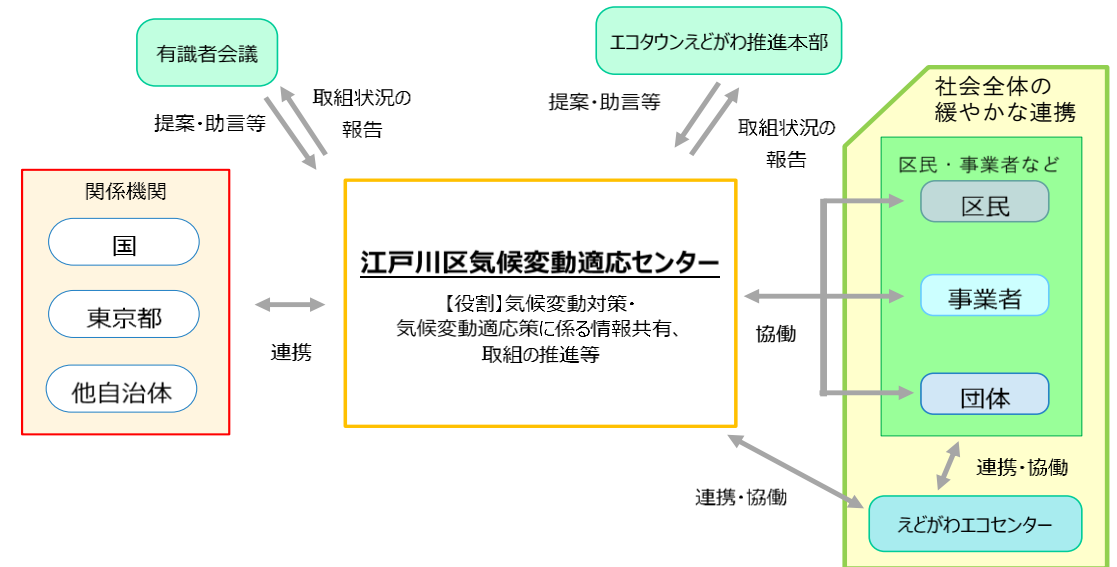


## 【計画の期間】

● 2022年度～2030年度

※本計画で一部改定する「第2次エコタウンエドがわ推進計画」の計画期間と合わせる

## 【計画の推進】



エコタウンエドがわ推進計画  
第1次：2008年度～2017年度  
第2次：2018年度～2030年度

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第19条第2項に基づき、区市町村が策定・実施するよう努めるものとされている「温室効果ガス排出の抑制等のための総合的かつ計画的な施策」に該当

江戸川区気候変動適応計画

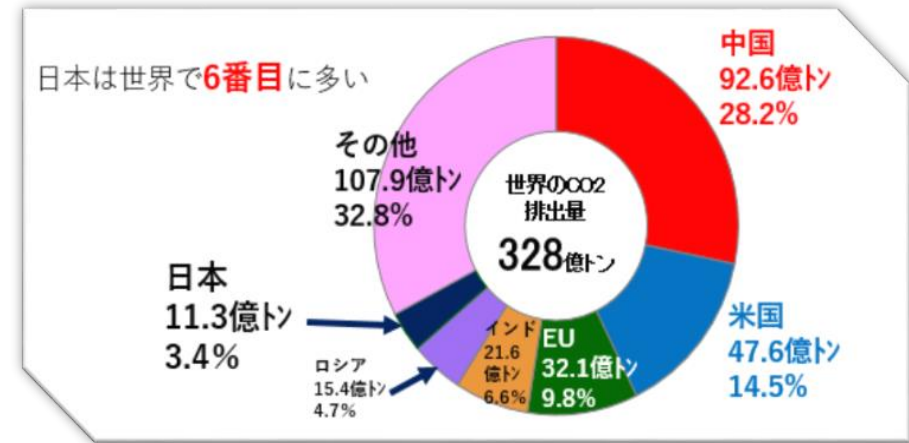
「気候変動適応法」第12条に基づき、区市町村が策定するよう努めるものとされている「地域気候変動適応計画」に該当

# 第2章 地球温暖化の現状と対策

## 【地球温暖化の現状】

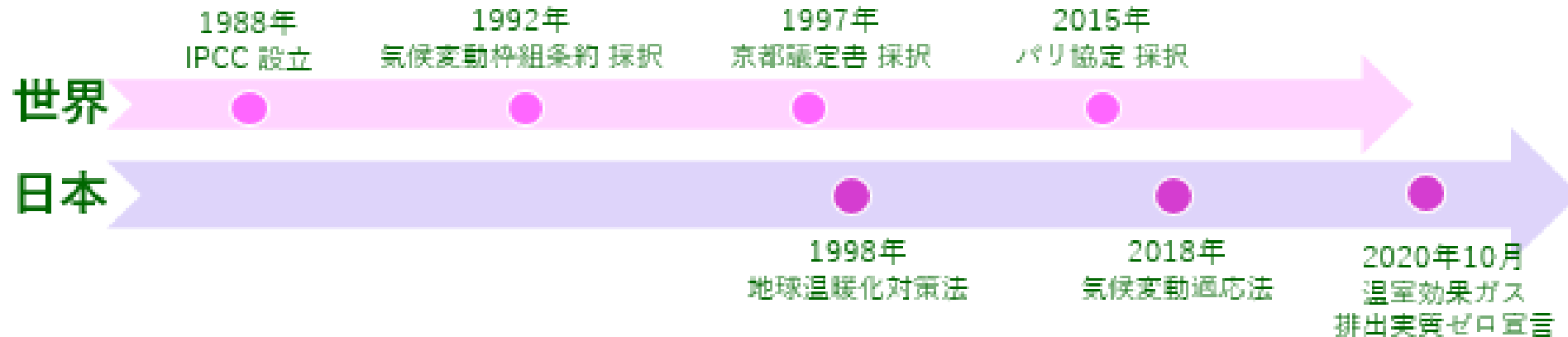
- 産業革命以降、大気中のCO2濃度は40%増加
- IPCC評価報告書  
「人間の影響で温暖化が進んだことに、疑いの余地はない」
- 京都議定書やパリ協定による国際的な対策
- 日本は2050年カーボンニュートラルを宣言

## 【世界の二酸化炭素排出量】



※EUを1か国としてカウントした場合、日本は6番目に多い

## 【地球温暖化対策の動き】



# 第3章 江戸川区の特性と気候

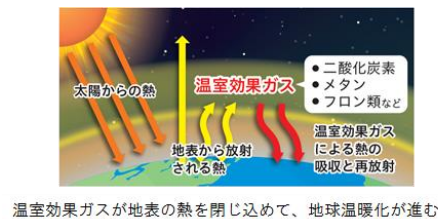
## 【江戸川区の特性】

- 人口：約69万人
- 面積：49.09km<sup>2</sup>（うち陸域面積40.4km<sup>2</sup>）
- 区内陸域の約7割が海拔ゼロメートル地帯

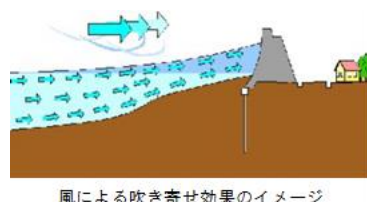
## 【温暖化から水害への流れ】



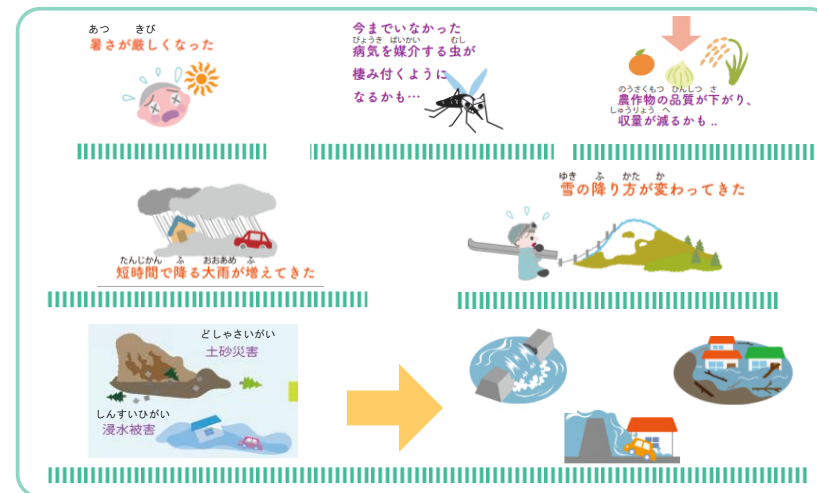
### ●地球温暖化のメカニズム



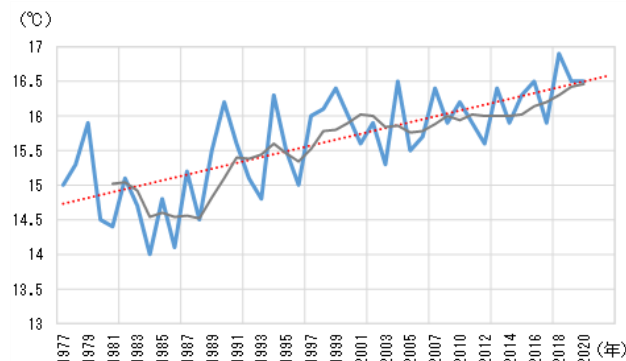
### ●高潮発生メカニズム



## 【さまざまな気候変動影響】



## 【江戸川区の気候・気象の変化】



年間平均気温の経年変化

- 気温
- 夏日
- 降水量
- 台風
- 桜の開花日
- 将来予測 など  
を掲載



# 第4章 江戸川区のこれまでの適応策

## 【水害に対する備えが必要】



- 江戸川区の地形は「洗面器の底」のよう
- 水害に対する備えは「自分ごと」
- 水害の歴史



平井駅の浸水状況



令和元年東日本台風（台風第19号）  
襲来時

## 【ハザードマップの作成・周知等】



水害ハザードマップ



浸水時間



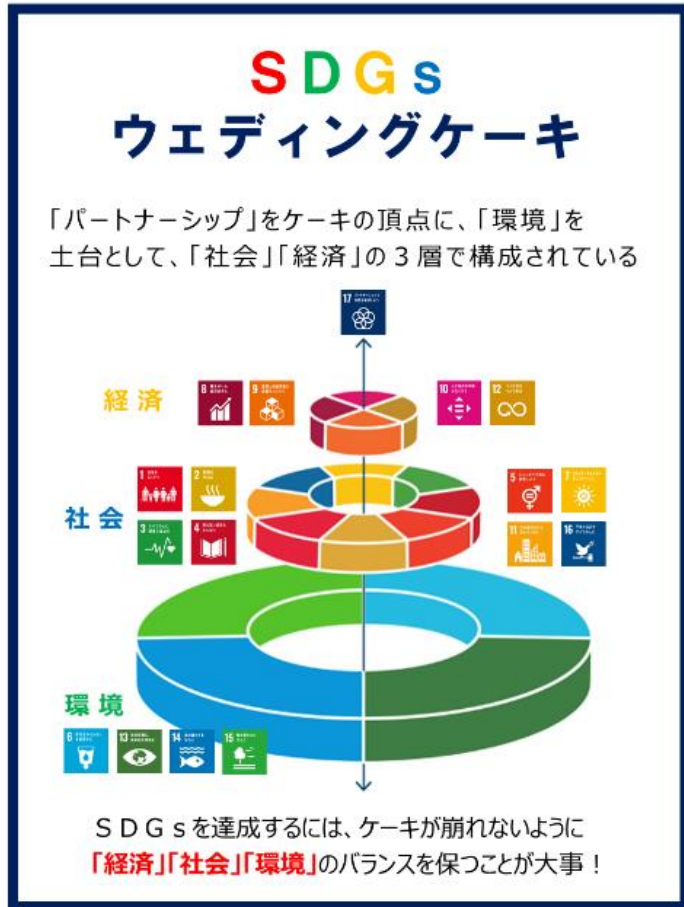
- 広域避難のための宿泊補助金制度

いのち

# 第5章 「いまの生命」を守る～気候変動への適応策～

## 【社会・環境・経済の3本柱で適応】

- 適応策（区の施策・区民の取組・事業者の取組）



3つの層を  
3本の柱に

### I 社会

- 1 自然災害に関する影響への対策
- 2 健康や生活・共生に関する影響への対策

### II 環境

- 1 自然環境や水環境・水資源に関する影響への対策

### III 経済

- 1 農業や産業・経済活動に関する影響への対策

#### <区の施策> 事例の紹介

- ・都市計画道路の整備の推進
- ・災害時要配慮者対策の推進
- ・避難所運営協議会の設立・支援推進 など

#### <区民・事業者の取組> 事例の紹介



# 第6章 江戸川区のこれまでの緩和策

## 【エコタウンえどがわ推進計画の推進】



### ● 第1次エコタウンえどがわ推進計画

#### 【計画期間】

2008（平成20）年度～2017（平成29）年度

#### 【第1次目標】

2008（平成20）～2012（平成24）年度までの5年間で、  
二酸化炭素排出量を平均で6%削減（2004（平成16）年度比）

達成

8.6%削減

#### 【第2次目標】

2017（平成29）年度において、  
二酸化炭素排出量を14%削減（2004（平成16）年度比）

達成

22.4%削減

### ● 第2次エコタウンえどがわ推進計画

#### 【計画期間】

2018（平成30）年度～2030（令和12）年度

#### 【目標】

2030（令和12）年度までに、  
温室効果ガス排出量の削減目標 40%削減（2013（平成25）年度比）

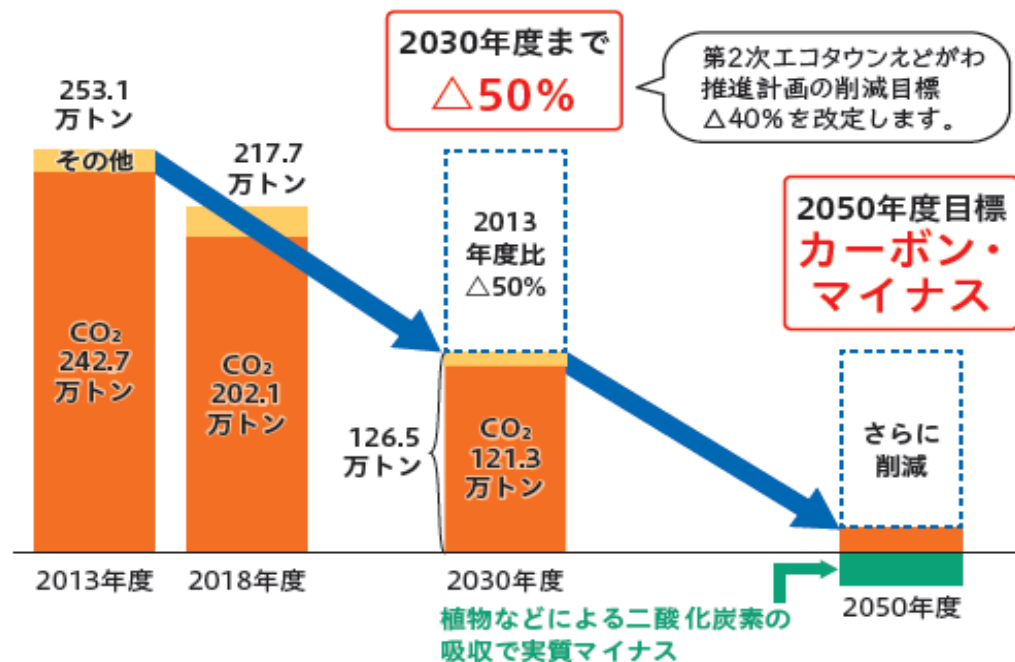
※2022（令和4）年度までの削減目安：10%

2027（令和9）年度までの削減目安：29%

# 第7章 「みらいの地球」を守る～気候変動への緩和策～

## 【温室効果ガス排出量削減目標】

- 2030(令和12)年度までに**50%削減** (2013年度比)
- 2050(令和32)年度**カーボン・マイナス**



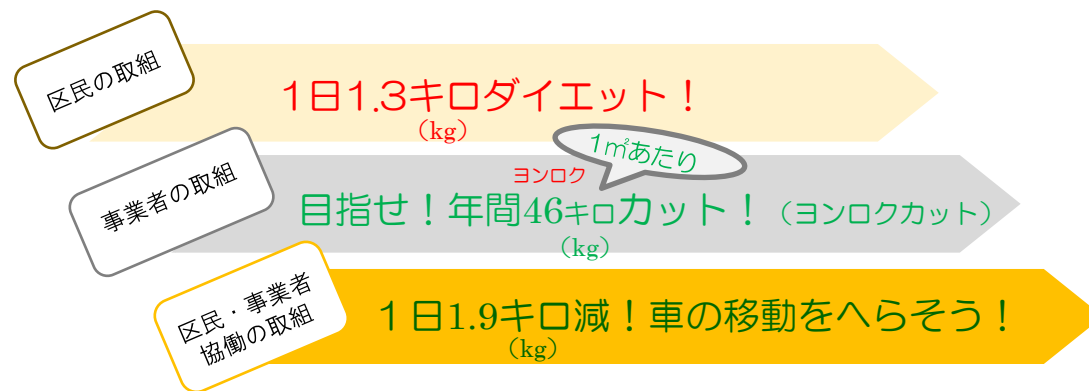
2050年度までの温室効果ガス排出量の削減イメージ

## 【二酸化炭素排出量削減に向けた取組】

### <区の施策> 事例の紹介

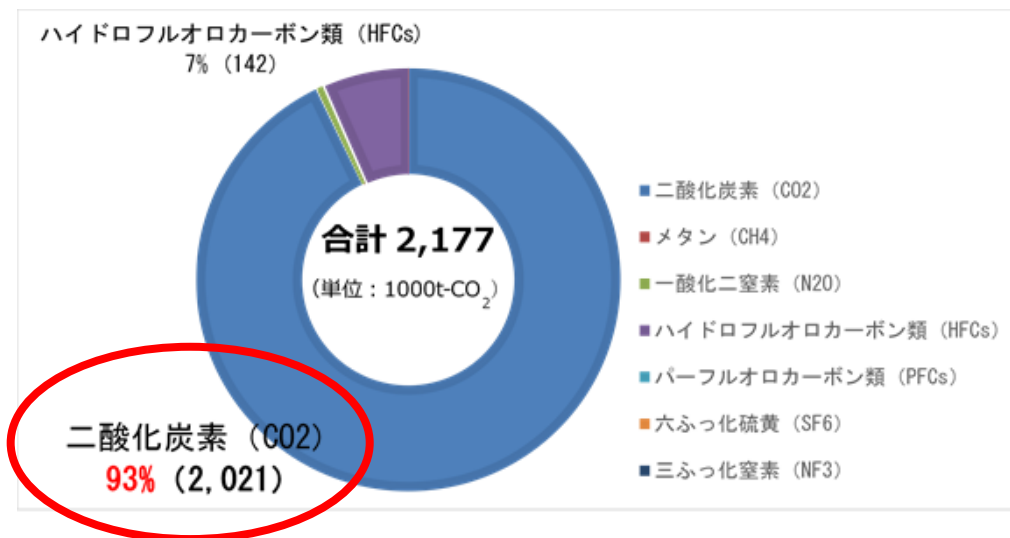
- ・ 区施設・敷地への太陽光パネル設置
- ・ 公用車のEV・FCV等への切替
- ・ EDOGAWA環境教育プロジェクト (環境教育・啓発)
- ・ 「ゼロ・エミッション・パーク (ZEP)」の整備 など

### <区民・事業者の取組>



# 区の温室効果ガス排出量及び二酸化炭素排出量

図1.区の温室効果ガス種類別の排出量割合（2018年度）

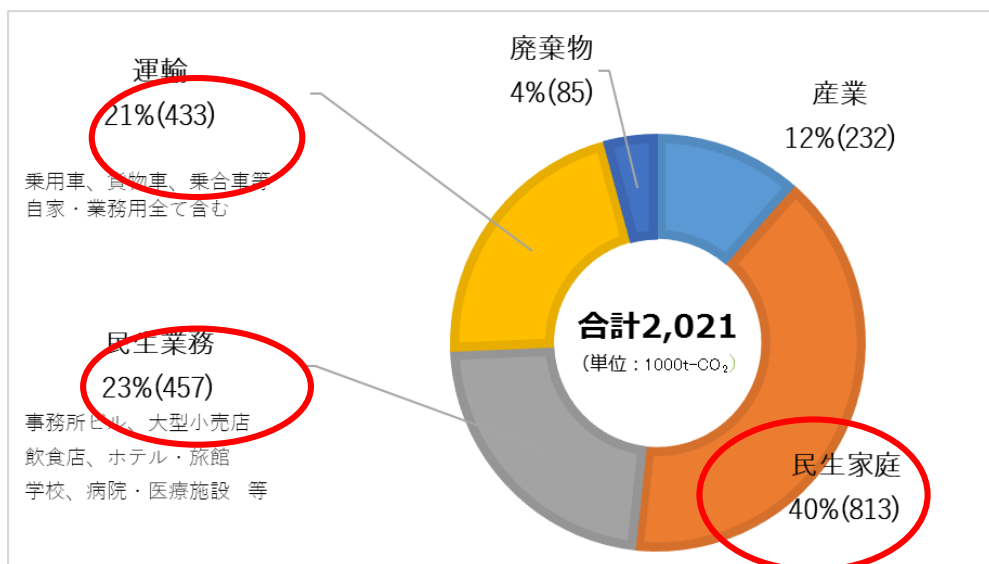


◎ 区が排出する温室効果ガスのうち**約9割**がCO<sub>2</sub>

◎ CO<sub>2</sub>排出量のうち

- ① 民生家庭部門 約4割
- ② 民生業務部門 約2割
- ③ 運輸部門 約2割

**約8割**



部門	分類	主な排出源
産業部門	農業水産業	オフィス機能を除く第1次産業及び第2次産業の工場・事業所におけるエネルギー消費により排出
	建設業	
	製造業	
民生部門	家庭	家庭でのエネルギー消費により排出 (※自家用車の燃料は運輸部門)
	業務	事務所・大型小売店・飲食店等でのエネルギー消費により排出 (※業務用自動車の燃料は運輸部門)
運輸部門	自動車	自動車及び鉄道でのエネルギー消費により排出 (運輸会社の他、自家用車や業務用自動車の燃料消費も入る)
	鉄道	
その他部門	一般廃棄物	一般廃棄物中の廃プラスチック等の焼却処理時に排出

図2.区の二酸化炭素排出量の部門別割合（2018年度）

# 第7章 気候変動への緩和策

## 民生家庭部門の削減

区民の取組

1日1.3キロダイエット!  
(kg)

年度	2013年度 基準年度	2018年度 実績	2030年度 目標
家庭部門の 二酸化炭素排出量	97万トン	81万3千トン	48万5千トン
1人あたりの 二酸化炭素排出量 (1日あたり)	3.9kg	3.2kg	1.9kg

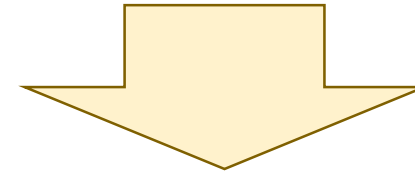
※人口69万人で計算

50%削減

1.3kg削減

区民一人ひとりが、1日1.3kgのCO2排出を削減

- ◎省エネ活動は多岐にわたる
- ◎実施の可否が個人によって違う



事例紹介

### 【省エネ活動の事例】

- ・リビングでの取組 25事例
- ・キッチンでの取組 13事例
- ・バス・トイレでの取組 10事例
- ・その他の取組 4事例 など

スイymanの

1日1.3キロダイエットプラン

(目安)

省エネ行動	1日あたりの CO2削減量(g)
テレビをつけている時間を1日1時間減らす	22.5
テレビは明るすぎないように設定する	36.4
パソコンを使う時間を1日1時間減らす(デスクトップ)	42.5
パソコンを使う時間を1日1時間減らす(ノートパソコン)	7.4
冷房時の室温は28℃を目安にする	40.5
暖房時の室温は20℃を目安にする(エアコン)	71.2
冷房(エアコン)の使用時間を1日1時間減らす	25.2
暖房器具の使用時間を1日1時間減らす(エアコン)	54.5
フィルターをこまめに掃除する(月2回程度)	42.7
部屋を片付けてから掃除機をかける	7.4

1.3キロダイエットの  
プランの1例を提示

事例を及びCO2削減量を掲載し、  
区民一人ひとりができること考え、

「わたしの1.3キロダイエットプラン」  
を作る

# 第7章 気候変動への緩和策

事業者の取組

1㎡あたり  
ヨロク  
目指せ！年間46キロカット！（ヨロクカット）  
(kg)

## 民生業務部門の削減

1事業所あたり、年間1㎡あたり45.8kgのCO2排出を削減

### ◎事業所の規模により削減量は大きく変わる

※1万6千事業所、総延床面積40万㎡で計算  
(1事業所あたり250㎡)

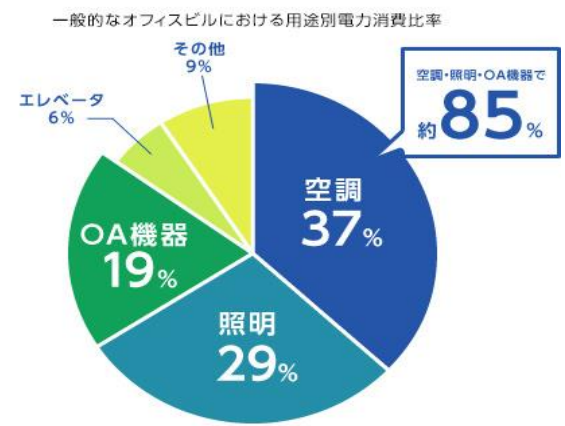
年度	2013年度 基準年度	2018年度 実績	2030年度 目標
業務部門の 二酸化炭素排出量	54万8千トン	45万7千トン	27万4千トン
1事業所あたりの 二酸化炭素排出量 (年間)	34.3トン	28.6トン	17.1トン
1㎡あたりの 二酸化炭素排出量	137.0kg	114.3kg	68.5kg

50%削減

延床面積で削減量を設定（目安） 45.8kg削減

延床面積	年間二酸化炭素排出量の削減目安	月あたりの削減目安
100㎡～	4,600kg (=4.6トン)～	約0.4トン～
200㎡～	9,200kg (=9.2トン)～	約0.8トン～
300㎡～	13,800kg (=13.8トン)～	約1.2トン～
500㎡～	23,000kg (=23.0トン)～	約1.9トン～
1,000㎡～	46,000kg (=46.0トン)～	約3.8トン～
3,000㎡～	138,000kg (=138トン)～	約11.5トン～
5,000㎡～	230,000kg (=230トン)～	約19.2トン～
10,000㎡～	460,000kg (=460トン)～	約38.3トン～

オフィス系建物は、①省エネ活動  
②設備の更新 が重要



従業員一人ひとりの省エネ活動も効果がある

省エネ活動事例や設備更新事例を紹介し、各事業所で削減方法を考え、  
**1㎡あたり二酸化炭素排出量45.8kg削減**を目指す



# 第7章 気候変動への緩和策

## 運輸部門の削減

区民・事業者  
協働の取組

1日1.9キロ減！車の移動をへらそう！  
(kg)

※2万2千台で計算

年度	2013年度 基準年度	2018年度 実績	2030年度 目標
運輸部門の 二酸化炭素排出量	56万トン	43万3千トン	28万トン
自動車1台あたりの 二酸化炭素排出量 (1日あたり)	7.0kg	5.4kg	3.5kg

50%削減

1.9kg削減

事例紹介

### ecoムーブの例

- ♪近い距離は歩いて移動する（1km未満）
- ♪遠い距離は自転車で移動する（1km～4kmぐらい）
- ♪ちょっと遠い距離はなるべく公共交通機関で移動する
- ♪レンタサイクルを利用する
- ♪自動車を運転するときはエコドライブをする
- ♪カーシェアリングを活用する
- ♪自動車を買う替える など

二酸化炭素排出量を削減できる移動手段

区民一人ひとりが、ecoムーブを実践する

「地球にやさしい移動」  
= 「エコムーブ」のポイント

- 1.なるべく車を使わない！
- 2.車を運転するときはエコドライブ！
- 3.車を「次世代自動車」に買い替える！

- 【自動車の場合】
  - ・エコドライブ 10事例
  - ・買い替えの事例
  - ・事業者での取組事例
- 【自動車以外の場合】
  - ・徒歩、自転車
  - ・公共交通機関の利用

事例を掲載し、  
区民・事業者のecoムーブの取組を促す